

支庁の風

☆支庁HPにてカラー版掲載中☆

発行 東京都八丈支庁総務課
この広報誌には、音声コードが各ページ
右下、又は左下に印刷されています。

11月号の気になる見出し

- ◆P1 八丈島空港「空の日」滑走路ナイトツアー開催報告
- ◆P3 狩猟期間のお知らせ
- ◆P4 東京都母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付

注目!

八丈島空港「空の日」滑走路ナイトツアー開催報告

八丈島空港 空の日実行委員会 ☎2-0163
港湾課港湾空港管理担当 ☎2-1115

9月24日(土)、八丈島空港「空の日」滑走路ナイトツアーを開催いたしました。日中に開催予定であった「空の日」イベントは悪天候で中止となりましたが、夕方には天候が回復し、無事ナイトツアーを開催することが出来ました。



■バックヤードにて

参加者は普段入ることが出来ない空港制限区域内に入り、手荷物受取所に荷物を運ぶベルトコンベヤーや、飛行機をプッシュバックするトーイングカー等の空港を支える設備や特殊車両を見学しました。

次に、電源局舎に移動して電気設備や、灯火の操作に関する八丈支庁職員の解説に耳を傾けていただきました。

■滑走路にて

そのまま滑走路末端に移動し、空港管理事務所職員のカウントダウンとともに航空灯火が一斉にとると、様々な光が照らし出す景色に参加者から驚きと歓声が上がりました。参加者は航空灯火を思い思いの場所から鑑賞したり、夜の滑走路を背景に記念撮影を楽しみ、大いに盛り上がりました。

次に、車で移動しながら、天候によって切り替わる灯火の明るさや、場所によって変わる灯火の色や見え方が航空機のパイロットに対し安全運航に必要な情報を視覚で伝えていることを学んでいただきました。

■最後に

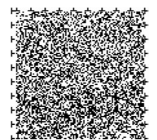
空港には様々な仕事がありますが、「安全」を最優先に運営しております。今後とも八丈島空港の安全な運営に、ご理解とご協力をお願いします。



色とりどりの航空灯火



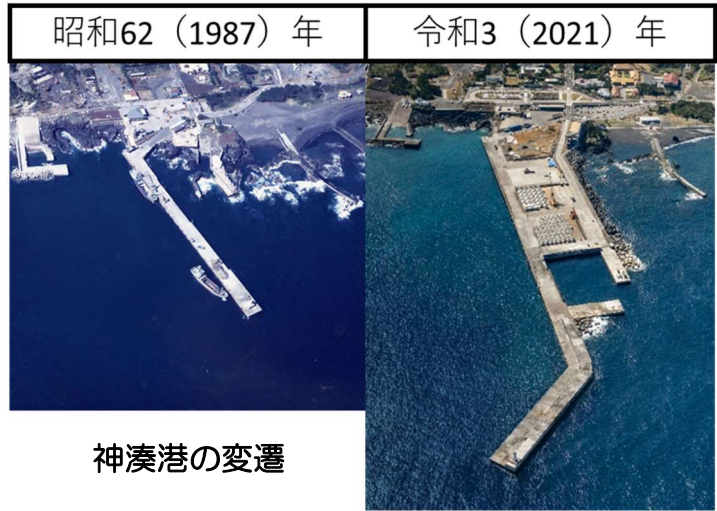
航空灯火を間近に見る参加者



支庁港湾課では、神湊（底土）港の整備を進めています。

現在の神湊港は、昭和 40（1965）年、島で唯一定期船が接岸できる港として完成したのがはじまりです。今のような防波堤や消波ブロックなどはなく、全長約 40m の小さな港でした。

波が高い八丈島では、防波堤や消波ブロックに守られていない港は少しの荒天で波をかぶってしまいます。完成当時の計画接岸率は 65%。3 回に 1 回は港に接岸できなかった計算です。



神湊港の変遷

その後、防波堤や消波ブロックの設置などの越波対策を進め、令和 4 年現在の定期船接岸率はおよそ 9 割を達成しています。

長年、神湊港の整備に関わってきた建設業関係者の S さんは、港の変化を次のように振り返ります。

「近年実施した整備では、防波堤の整備が印象に残る。整備前には、北東から波が来る日は定期船が神湊港に接岸できないのが基本だった。しかし整備後は、北東から波が来ても接岸できる日が増えたと実感している。」



現在神湊港は、毎日定期船が運ぶ生活物資を整理する荷さばき地の確保のため、港の拡張を続けています。港の拡張は「ケーソン」というコンクリートの函（はこ）で港の外枠を作ってから、内側を埋め立てて進めます。

今年度は 6 月 18 日にケーソンの据付を実施しました。長さ一辺 15m、重さ 2 千 t を超える巨大なケーソンは、東京港で製作したのち、3 日間かけて船で曳いてきます。到着したケーソンは、既存構造物に合わせて慎重に設置しなければなりません。

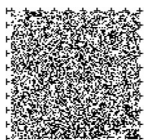
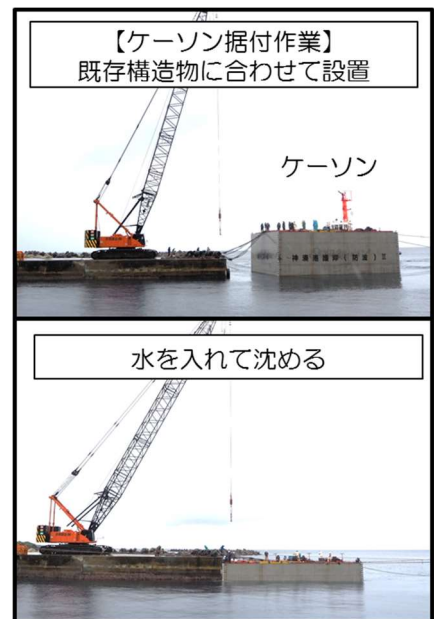
波に揺られ雨に打たれる中、作業員の皆さんの阿吽の呼吸で正午にケーソンは無事設置されました。

据付工事の現場代理人である O さんは、ケーソン据付作業の難しさをこう語ります。

「ケーソンを引込むワイヤーや作業船の配置、ケーソンに水を入れるタイミング等は、据付場所ごとに工夫が必要。今回は既設構造物に囲まれた狭い場所だったが、周りに接触することなく無事に完了できた。」

当日開催した現場見学会には 50 名以上の方にご参加いただき、事業についてご説明させていただくことができました。

今後も皆さまのご理解・ご協力のもと、事業を着実に進めてまいります。



狩猟期間のお知らせ

産業課林務担当 ☎2-1113

11/15（火）から来年2/15（水）まで狩猟期間となっています。

この期間中は、狩猟者が山に入って狩猟を行います。

支庁では、狩猟を安全に行うよう狩猟者へ事故防止について指導していますが、より一層の安全確保のため、山など野外で活動する場合は、目立つ服装で山に入るとともに、携帯ラジオ等で音を出すなどしてください。

身近な場所で野鳥の死がいを見つけたら



産業課林務担当 ☎2-1113

大陸からの渡り鳥が島内でも見られる季節になりました。死亡した野鳥を見つけたら、次のことにお気をつけ下さい。

◆野鳥は様々な原因で死亡します

野鳥は、環境の変化や餌がとれないなど、様々な原因で死亡します。野鳥が死んでいても、直ちに鳥インフルエンザを疑う必要はありません。

◆死亡した野鳥は素手で触らないで下さい

野鳥は鳥インフルエンザ以外にも様々な細菌や寄生虫をもっているため、素手で触らないでください。日常においても、野鳥への過度な接触や餌やりは控え、糞にも直接触れないよう心がけて下さい。

◆鳥インフルエンザへの感染について

もし野鳥が死んでいた場合でも、高病原性鳥インフルエンザによるものである可能性は極めて低いといえます。多数の野鳥が一度に死んでいる状況でなければ、野鳥の死がいは素手で触れないようにして土に埋めてあげるか、ビニール袋に入れてきちんと封をして、燃やせるゴミとして処分して下さい。同じ場所でたくさんの鳥が死亡していたら、産業課林務担当（2-1113）までご連絡下さい。

八丈分教室からのお知らせ

青鳥特別支援学校八丈分教室 ☎2-1245

八丈分教室では9月から、学校見学会を実施しています。11月は4回開催する予定です。日程や申込方法については、青鳥特別支援学校ホームページと八丈分教室 Twitter に掲載していますので、御確認ください（電話で御確認いただいても構いません）。皆様の御来校をお待ちしています。



青鳥特別支援
学校 HP



八丈分教室
Twitter

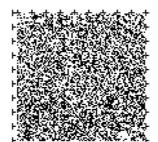
八丈ビジターセンター行事予定表

八丈ビジターセンター ☎2-4811

11/13（日）	植物公園季節調査会
11/26（土）	八丈学講座「海岸散歩」
12/11（日）	植物公園季節調査会
12/18（日）	特別行事「リースを作ろう」
12/24（土）	八丈学講座「島の素材で正月飾り」
12/29（木）～1/3（火）	体験八丈太鼓



「植物公園ガイドウォーク」を毎週土日祝に加え、年末年始 12/29～1/3も開催！



東京都母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付

総務課福祉担当 ☎2-1112

東京都ではひとり親家庭の父母等や配偶者のいない女性に対し、修学・就職・転宅等、目的により必要な額を各資金の限度額内でお貸ししています。お子さんが入学するために必要な資金の貸付もあります。貸付対象は下記に該当かつ貸付が自立につながり、償還（返済）の計画が立てられる方です。ご相談・お申込みにつきましては、八丈支庁福祉担当にお問い合わせください。（要電話予約）

母子及び父子福祉資金

○対象者：都内に6カ月以上お住まいの母子家庭の母又は父子家庭の父等で20歳未満のお子さんを扶養している方

女性福祉資金

○対象者：都内に6カ月以上お住まいの配偶者がいない女性で、次のいずれかに該当する方

- (1) 親・子・兄弟姉妹等を扶養している方（所得制限なし）
- (2) 年間所得が2,036,000円以下で、かつて母子家庭の母として20歳未満の子を扶養したことのある方又は婚姻歴のある40歳以上の方

※資金の種類及び貸付限度額等の詳細については、東京都福祉保健局のウェブページ（https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/hitorioya_shien/keizai/boshi.html）又は八丈支庁総務課においてパンフレットを配布していますので、遠慮なくお越しください。

※貸付の決定に当たっては、必要な資金の内容、生活収支状況等について確認をさせていただくうえで、審査を行います。審査の結果、貸付けができない場合もありますのでご了承ください。また、審査及び交付には最短でも1か月程時間がかかります。必ず余裕をもって事前にご相談ください。

※資金の種類や申請する方の収入状況によっては、連帯保証人（要件あり）が必要な場合があります。

支庁マメ知識

—海の標識「航路標識」—

港や漁港で、写真のようなものを見たことがあると思います。これは海の標識「航路標識」で、船に対して航路の方向や施設の位置を伝えるものです。皆さんによく知られている「灯台」も航路標識の一つです。支庁港湾課では、こうした海上交通に必要な航路標識の設置・管理を行っています。

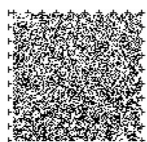
航路標識は、設置する位置や目的によって標識の色が決まっています。例えば右舷標識は赤、左舷標識は白・緑色です。さらに、夜間にも同じ色が見えるよう、右舷標識は赤い光、左舷標識は緑色の光を放つ決まりになっています。



神湊漁港の簡易標識灯

編集後記

秋といえば・・・運動会の季節ですね。走ることが大好きな子どもは、保育園でのかけっこやリレーの練習が大好きで、休日も保育園に行きたくてたまらないようです。毎日毎日たくさん練習した子どもたちの雄姿を見られるのが今から楽しみです。



発行 東京都八丈支庁総務課

〒100-1492 東京都八丈島八丈町大賀郷2466-2

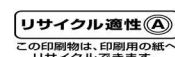
電話 04996-2-1111 FAX 04996-2-3601

八丈支庁のホームページ <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/O9hatijou/index.html>

印刷番号3(1)



本紙は再生紙70%以上を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

